様式第２号（第３条関係）

審　議　会　会　議　録

<table>
<tr><td>会 議 名 称</td><td colspan="3">令和８年度　第１回伊達市社会教育委員会議</td></tr>
<tr><td>議　　題</td><td colspan="3">◎令和８年度教育行政執行方針について
◎令和７年度社会教育事業実績報告について
◎令和８年度社会教育事業計画について</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td colspan="3">令和８年６月 10 日（水）18 時 30 分から 19 時 15 分まで</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="3">伊達市役所第２庁舎２階　第１会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出　席　者</td><td colspan="3">社会教育委員８名、教育委員会職員 10 名：出席者計 18 名
※欠席委員３名</td></tr>
<tr><td>所管部課名</td><td colspan="2">教育部生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公開非公開の別</td><td>■ 公　開</td><td>傍聴者の人数</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>□ 非公開</td><td>非公開の理由</td><td>―</td></tr>
</table>

【会議概要】

１．開　会（事務局：生涯学習課長）

２．委嘱状交付

３．開会あいさつ（伊達市教育委員会教育長）

４．議事

（１）報告第１号　令和８年度教育行政執行方針について
（２）報告第２号　令和７度社会教育事業実績報告について
（３）報告第３号　令和８度社会教育事業計画について
　　資料に基づき事務局から説明

【質疑】

■議長

図書館事業に３市町交流ベイブレード大会が計画されているが、他自治体は参加しないのか。

◆事務局

他自治体にも案内したが、今年度については不参加とのことだった。

５．意見交換・その他

①二十歳（はたち）を祝う会の開会時間の変更
②第２回伊達市社会教育委員会議の開催予定
③北海道社会教育委員連絡協議会永年勤続功労表彰への推薦
以上３点について事務局より提案・報告し、委員からの意見等なし

■議長

事業計画に記載のとおり、社会教育委員を対象とした研修会などが開催されるので、委員の皆さんにも積極的に参加していただきたい。

また、令和 11 年度に全国大会が旭川市で開催される。胆振管内の事務局は苫小牧市だが、協力要請があった場合には委員の皆さんにもご協力願いたい。

６．閉　会

令和８年度
第１回伊達市社会教育委員会議

日時　令和８年６月１０日（水）午後６時３０分から

会場　伊達市役所第２庁舎　第１会議室

伊 達 市 教 育 委 員 会

会　議　次　第

１．開　　会　　伊達市教育委員会　生涯学習課長　菊　地　　誠

２．委嘱状交付　　机上配付といたします。

３．開会あいさつ　　伊達市教育委員会　教育長　堀　籠　康　行

４．議事

（１）報告第１号　　令和８年度教育行政執行方針について・・・・・・・・・〔資料１〕

（２）報告第２号　　令和７年度社会教育事業実績報告について・・・・・・・〔資料２〕

（３）報告第３号　　令和８年度社会教育事業計画について・・・・・・・・・〔資料３〕

５．意見交換・その他

６．閉　　会

【参加者名簿】

〔社会教育委員〕　※５０音順

氏　　名	就任年月日	備　　考
安孫子　孝　次	令和 元 年　５月　１日	伊達メセナ協会　事務局長
伊　藤　光　輝	令和 ５ 年　５月　１日	伊達青年会議所　副理事長
伊　藤　成　子	平成１９年　５月　１日	つどいサークル「ドロップ」　代表
小　谷　洋　史	平成１９年　５月　１日	伊達 favoriteCLUB　顧問
小　林　浩　路	平成２７年　５月　１日	元教育部指導室　指導員
佐　藤　　誠	平成２８年　６月　１日	伊達市文化協会　事務局長
澤　田　　眞	令和　８年　６月　１日	伊達市 PTA 連合会　会長
神　　洋　平	平成３０年　５月２４日	伊達シニアクラブスポーツ少年団　指導者
鳴　海　摩里子	令和 元 年　５月　１日	伊達市スポーツ推進委員
花　田　啓　光	令和 ７ 年　５月　１日	伊達市校長会 会長
與　田　顕　規	令和 ８ 年　６月　１日	北海道伊達開来高等学校　校長

〔伊達市教育委員会〕

所　　属	氏　　名	所　　属	氏　　名
教育長	堀　籠　康　行	青少年・スポーツ係長	坂　元　賢　一
教育部長	山　根　一　志	文化財係長	永　谷　幸　人
生涯学習課長	菊　地　　誠	文化財係主査	黒　田　格　男
図書館長	阿　部　　博	社会教育係長	石　上　友　紀
図書館業務係長	橋　本　拓　和	社会教育係主任	小　山　慎　人

○伊達市社会教育委員に関する条例

平成12年３月29日
条例第23号

伊達市社会教育委員の定数及び任期に関する条例（昭和24年条例第26号）の全部を改正する。

（設置）

第１条　社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第15条の規定に基づき、伊達市に社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

（定数）

第２条　委員の定数は、12人以内とする。

２　委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、伊達市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

（任期）

第３条　委員の任期は２年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（解嘱）

第４条　教育委員会は、特別の事情があると認めたときは、委員の任期中であってもこれを解嘱することができる。

附　則

（施行期日）

１　この条例は、平成12年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この条例施行の際、現に改正前の伊達市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の規定により委嘱を受けていた委員の任期は、平成13年４月30日までとする。

附　則（平成26年３月20日条例第10号）

この条例は、平成26年４月１日から施行する。

○伊達市社会教育委員会議規則

平成15年６月27日教育委員会
規則第４号

（目的）

第１条　この規則は、伊達市社会教育委員（以下「委員」という。）の会議について必要な事項を定めるものとする。

（議長及び副議長）

第２条　委員の会議（以下「会議」という。）に、委員の互選により議長及び副議長を各１名を置く。

２　議長及び副議長の任期は、委員の在任期間とする。

３　議長は、会議を代表し、議事その他会議の事務を総理する。

４　副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第３条　会議は、教育長が招集する。ただし、在任委員の３分１以上の者から会議の招集の請求があったときは、教育長は、これを招集しなければならない。

２　会議は、在任委員の過半数が出席したときに成立し、議事はその過半数により決する。可否同数のときは、議長が決するところによる。

（庶務）

第４条　会議の庶務は、教育部生涯学習課において処理する。

（その他）

第５条　この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成20年12月25日教委規則第12号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成27年３月26日教委規則第８号）

この規則は、平成27年４月１日から施行する。

令　和　８　年　度

教　育　行　政　執　行　方　針

北　海　道　伊　達　市　教　育　委　員　会

目　　次

１　はじめに　1

２　教育行政に臨む基本姿勢　3

３　推進項目　6

（１）　学校教育　6

（２）　社会教育　15

（３）　歴史・文化芸術　18

（４）　スポーツ　21

４　むすび　23

１　はじめに

令和８年第１回伊達市議会定例会の開会に当たり、教育行政の執行に関する主要な方針につきまして申し上げます。

教育は、子どもたち一人ひとりの可能性を引き出し、地域社会の持続的な発展を支える重要な基盤です。変化が激しく、先行きが不透明な時代においては、自ら考え、他者と協働しながら課題を解決する力、そして、多様性を尊重し、社会に参画する力を育む教育がこれまで以上に求められております。

このような中、国においては「誰一人取り残されない教育の実現」を基本理念に掲げ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、ＧＩＧＡスクール構想の深化、不登校や特別な支援を必要とする子どもへの支援の強化、教職員の働き方改革などを柱とした教育改革が進められております。また、北海道においても、地域の特性を生かした学びと子どもたちの多様な可能性を伸ばす教育の推進が示されております。

本市においては、国や北海道の動向を踏まえつつ、地域に根ざした教育の充実を図って参ります。北黄金貝塚をはじめとする貴重な歴史遺産、武家文化や自然、伝統行事など、本市が有する多様な地域資源は、子どもたちがふるさとに誇りを持ち、自らの学びを深めるための重要な教育資源であります。学校教育を核としながら、社会教育施設や地域団体との連携を強化し、学校の枠を超えた学びの場を広げて参ります。

教育は、子どもたちの成長を支えると同時に、地域の未来を形づくる営みでもあります。学校教育、社会教育、歴史・文化芸術、スポーツといった多様な学びを通じて子どもたちが地域とのつながりを実感し、主

体的に社会と関わる力を育むことは、地域の活力や絆の醸成につながります。

本市は、子どもたち一人ひとりが自らの学びに意味を見出し、夢や希望を持って未来に向かって歩むことができる教育を目指して参ります。地域とともに育つ教育環境の充実を図り、子どもたちと地域社会が相互に支え合い、成長していく教育行政を推進して参ります。

２　教育行政に臨む基本姿勢

ここで、今後の教育行政に臨む基本姿勢につきまして申し上げます。

本市の教育行政は、誰一人取り残さない学びの保障を基本とし、子ども一人ひとりが多様な個性や可能性を発揮し、社会の中で自立し、協働できる力を育むことを最大の使命といたします。その実現に向け、学校教育、社会教育、歴史・文化芸術、スポーツの四つの分野を相互に連動させ、地域全体で子どもたちの成長を支える教育環境の充実を図って参ります。

学校教育におきましては、確かな学力の定着を基盤としながら、主体的・対話的で深い学びの実現を目指して参ります。ＩＣＴを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めることで、子どもたちが自ら考え、表現し、学び続ける力を育成して参ります。

また、不登校や学習・生活上の困難を抱える子どもたちへの支援を一層強化し、校内教育支援センターの整備や関係機関との連携を進めるとともに、メタバース等を活用したオンライン学習環境の整備により、子どもたちが安心して学びに参加できる多様な選択肢を確保して参ります。

新たに整備する市立図書館と学校図書館との連携を深め、読書活動や探究的な学習を通じた情報活用能力の育成を図って参ります。併せて、本市独自の地域学習「だて学」を更に充実させ、地域の歴史・文化・自然を題材とした探究的な学びを通じて、ふるさとへの理解と誇りを育んで参ります。

更に、教職員が子どもたち一人ひとりに向き合う時間を確保できるよう、業務の効率化や支援体制の整備を進め、働き方改革の推進に取り組んで参ります。

社会教育におきましては、誰もが生涯にわたり学べる環境の整備を進めて参ります。新たに整備する市立図書館は、地域の学びと交流の中心として位置付け、市民一人ひとりが知識や経験を深める場として活用して参ります。図書館と既存の社会教育施設等が連携し、子どもから高齢者まで幅広い世代が学び合う機会を提供することで、地域全体で知識や文化を共有する社会を目指して参ります。

また、地域資源を活かした市民活動やボランティア、講座やイベントの開催、ＳＩＰ（戦略的イノベーション創造プログラム）事業等、学びを通じた地域の活性化も促進して参ります。

歴史・文化芸術の振興は、子どもたちの感性を育み、地域の誇りを次世代に継承する上で不可欠であります。本市は豊かな地域資源に恵まれており、これを子どもたちに伝承することを最優先に位置付けております。伝統行事や地域固有の文化、自然環境を教育の中に取り入れ、体験型学習や創作活動を通じて、地域に根ざした文化や芸術の理解を深めて参ります。この取組により、子どもたちが地域の価値を体感し、自らの学びと結びつけることで、地域愛や文化への関心を高め、創造性豊かな人材の育成につなげて参ります。加えて、市民との連携を強化し、地域全体で文化芸術を育む土壌を整えることも重視して参ります。

スポーツにおきましては、子どもから高齢者まで幅広い世代が、健康で生き生きと暮らせる環境づくりを進めて参ります。特に、中学校部活動を地域クラブやスポーツ団体と連携し、地域展開を進めることで、子どもたちの運動機会を拡充するとともに、地域住民との交流や協力の場

として活用して参ります。こうした取組は、体力向上や協調性、挑戦する力を育むだけでなく、健康長寿社会の実現や地域コミュニティの活性化にも寄与いたします。また、スポーツイベントや大会の開催を通じて、地域経済や地域文化の振興にもつなげて参ります。

このように、本市の教育行政は、学校教育、社会教育、歴史・文化芸術、スポーツの四つの柱を通じて、子どもたち一人ひとりの成長と地域全体の発展を両立させることを基本姿勢としております。子どもたちが多様な経験を通じて自己を発見し、社会で活躍できる力を身に付けることは、地域の持続的な発展に直結いたします。

今後も教育現場や地域の声に耳を傾け、必要な施策を着実に実行し、子どもたちの未来を支える教育環境の充実に取り組んで参ります。

３　推進項目

それでは、令和８年度の推進項目と主要な施策につきまして申し上げます。

（１）　学校教育

第一は、学校教育についてであります。

社会を生き抜く力を育む教育の推進

現代は、急速に変化し、予測困難な社会といわれる時代であります。児童生徒はこうした社会で主体的に判断し、課題を解決していく力を育むことが求められております。そのため、本市ではＩＣＴや生成ＡＩなどの最新技術を活用した学習活動を積極的に取り入れ、情報を収集・分析し、多角的に考える力や問題解決力を養う教育環境を整えて参ります。これにより、児童生徒は変化する社会の中で自らの将来や学び方を考え、主体性を身に付け、行動に移すことができるようになると期待されます。

また、児童生徒が地域や社会とのつながりを実感しながら学ぶことも重要であります。地元の歴史や文化、地域資源について学ぶ「だて学」を通じて地域との関わりを深めるとともに、チームで課題を発見し、解決する力や考え抜く力、他者と協働する力など、将来、社会で必要となる基礎的な力を育む教育活動を推進して参ります。

更に、持続可能な社会の実現に向け、ＳＤＧｓの理念に沿った教育活動も充実させて参ります。児童生徒が地球規模の課題を自分ごととして捉え、地域の身近な課題とつなげながら行動できる力を育むことは、教育の質の向上に欠かすことはできません。教科等の学習と関連付け、地域資源や社会教育施設と連携した実践的な学習活動を通じ、ＩＣＴや生

成ＡＩの活用も取り入れながら、地域の将来を担う人材の育成につなげて参ります。

確かな学力の育成につきましては、変化の著しい社会にあって、児童生徒一人ひとりが個性を発揮し、未来を切り拓き、直面する課題を乗り越える能力を育むことが求められております。

その根幹となる確かな学力の向上を目指して、「全国学力・学習状況調査」や「伊達市学力テスト」等の分析により各校の課題を明確にし、学力学習改善プランを立て、指導方法等の工夫改善を行い、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、それらを活用できる力を育んで参ります。

学校図書館は、学習活動を支える重要な教育資源であり、児童生徒の主体的・探究的な学びを促進するものですが、更なる活用促進に向けて改善の余地もあります。市立図書館の新館開館という節目の年を迎えることを契機として、地域全体で「読む・学ぶ・つながる」文化を支える体制を整えるため、学校図書館の機能強化を図り、専門性を持つ学校図書館司書を常勤・巡回で配置するなど、読書活動の充実や学習支援の強化について、学校現場と協力して取り組んで参ります。

特別支援教育の充実につきましては、障がいのある子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の場を提供することを目指し、自立や社会参加に向け、北海道伊達高等養護学校や市の関係機関と連携を図るとともに、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成・活用を通して、長期的な視点で教育的支援を行うなど、継続した支援を行って参ります。

また、特別支援教育支援員、介護員の適切な配置や、中学校に新たに通級指導教室を開設するなど、学校と連携を図りながら、児童生徒個々の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行って参ります。

国際理解教育の推進につきましては、外国語学習の特質を踏まえ、児童生徒が外国語に多く触れ、実際のコミュニケーションに基づいて学習が進められることや、自国と他国の文化や多様性について理解できることが重要であります。学校教育では、外国語教育の充実・改善を進めるとともに、外国語指導助手を学校へ派遣し、外国語を用いた対話や外国の文化・習慣に触れる機会の充実を図って参ります。

情報教育の充実につきましては、本市における１人１台端末は、令和３年度に導入し、令和７年度をもって使用開始から５年を経過することから、更新時期を迎えております。児童生徒が主体的に学び、情報活用能力を育成するためには、安定したＩＣＴ環境の維持と進化が不可欠であります。このため、端末の更新を行うとともに、令和７年度に実施したネットワークアセスメントの結果を踏まえ、各校における情報機器の更新・増設及びアクセスポイントの配置改善を進めて参ります。

併せて、電子黒板の導入を進め、教室における視覚的・対話的な学習を強化して参ります。これにより、児童生徒がデジタル教材やオンライン学習を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを実現できる教育環境の整備を推進して参ります。

キャリア教育の充実につきましては、児童生徒が地域や社会との関わりの中で学ぶことの意義を実感し、自らの将来について主体的に考える力を育成するため、各学校における取組の一層の充実を図って参ります。

本市の豊かな自然や歴史、文化、産業などの地域資源を生かした「だて学」を通して、地域で暮らし働く人々の姿や思いに触れる学習を推進し、児童生徒が自分自身の生き方や進路を具体的に思い描くことができるよう支援して参ります。

とりわけ、全国と比較して「将来の夢や目標を持っている」と回答する児童生徒の割合が低い状況を踏まえ、学ぶことと将来とのつながりを

意識した教育活動の充実を図り、自己理解や社会理解を深めながら、将来に希望を持って学び続けようとする意欲の醸成に努めて参ります。

環境教育の充実につきましては、児童生徒が自然や地域の環境に親しみ、持続可能な社会の一員としての自覚を育むことができるよう、学校における教育活動の充実を図って参ります。

併せて、地域をフィールドとした学習である「だて学」を通して、地域の環境や生態系に触れる学習を推進し、環境保全や資源の大切さについて理解を深めるとともに、ＳＤＧｓの視点を踏まえた持続可能な社会づくりの意義を体感できる教育を展開して参ります。

更に、家庭や地域、関係機関と連携し、児童生徒が自ら考え、行動する力を養い、地域全体で環境意識を高める取組を推進して参ります。

安全・防災教育の充実につきましては、児童生徒が自然災害や緊急事態に適切に対応できる力を身に付けることを最優先に、学校全体での教育環境の整備を進めて参ります。

具体には、有珠山噴火や津波等の自然災害を想定した学校の危機管理マニュアルを定期的に見直し、最新の情報や地域の実情を反映させることで、実効性のある体制づくりを図って参ります。また、地域の消防、自治会、防災関係機関と連携し、避難訓練や災害対応訓練などの実践的な学習活動を計画的に実施し、児童生徒が自らの安全を考え行動できる力を養って参ります。

更に、交通安全教育、自転車などの安全な利用に関する指導や、防犯に関する学習活動を通じて、児童生徒が地域社会の一員として自律的に安全を意識し、判断・行動できる力を育むことにも努めて参ります。これらの取組は、日常の学びと災害・事故に備えた体験学習を組み合わせることで、児童生徒の安全に関する意識の定着と実践力向上につなげて参ります。

豊かな心を育む教育の推進

道徳教育の充実につきましては、いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こりうるとの認識のもと、学校、家庭、地域が連携し、児童生徒が主体となる取組を通して、いじめをしない、見逃さない、許さない指導のため、教職員のみならず児童生徒の意識醸成にも努めて参ります。

また、「子どもたちをいじめの被害者・加害者・観衆・傍観者にしない」観点から、伊達市いじめ防止基本方針に基づき、引き続き教育相談やアンケート調査、「児童生徒の心身健康チェックシート『ＫＯＫＯＫＡＲＡ』」の活用により児童生徒の変化や状況を把握し、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応に努めて参ります。

生徒指導・教育相談の充実につきましては、不登校が依然として減少していない状況を重く受け止め、児童生徒一人ひとりが学びや社会とのつながりを失うことのないよう、個々の状況に応じた支援の充実を図って参ります。不登校対策におきましては、個々の児童生徒に合った支援策を策定し、学校を中心として組織的・計画的に支援していくことが重要であります。各校における支援策を基盤として、学校と教育委員会が連携し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、不登校児童生徒サポートハウス「こどもの国フェニックス」を活用した取組の充実を図って参ります。

また、令和８年度からは、中学校に校内教育支援センターを設置し、安心して登校したり、学習に取り組んだりすることができる多様な学びの場を確保するとともに、登校が難しい児童生徒に対する新たな支援の在り方として、メタバースを活用した学習支援についても検討を進めて参ります。

併せて、通級指導や学校図書館を活用した居場所づくりなど、複数の施策を組み合わせた支援を通して、子どもたちが学びの場につながるこ

とを目指し、継続的な取組を進めて参ります。

健やかな体を育む教育の推進

体力・運動能力の向上につきましては、「全国体力・運動能力調査」などの結果を踏まえ、児童生徒が運動の楽しさを実感し、生涯にわたって体を動かすことにつながる取組を推進して参ります。

保健体育科の授業を中心に、運動への意欲を高める指導の工夫を図るとともに、部活動の地域展開の動きとも連動し、学校内外で多様な運動の機会を確保することで、日常的な運動習慣の定着と、将来の健康づくりにつながる体力・運動能力の向上を目指して参ります。

食育・健康教育の推進につきましては、児童生徒が給食を通して栄養バランスや健康維持の知識を学び、望ましい食習慣を身に付けることができる重要な教育活動と位置付けております。日本の学校給食は、単に食事を共にする場ではなく、科学的根拠に基づいた栄養指導や生活習慣教育が組み込まれた教育プログラムであり、児童生徒が健康的な食生活の基礎を身に付ける場として大きな役割を果たしております。国の施策として見込まれる「学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化)」や市が実施する「学校給食費保護者負担支援事業」を踏まえ、安全・安心な給食提供の環境整備にも取り組んで参ります。

学校におきましては、栄養教諭の派遣や家庭科・保健体育科の学習、給食時間を通じて、児童生徒一人ひとりが栄養や健康への理解を深めるとともに、食事のマナーや生活習慣を身に付けられるよう、主体的かつ計画的な指導を推進して参ります。また、食材による誤嚥事故の防止や、安全・安心な食生活の定着に向けた取組も継続して実施いたします。

更に、だて歴史の杜食育センターなどの地域資源を活用し、学校、家庭、地域が連携した食育・健康教育の充実を図って参ります。児童生徒

だけでなく、市民全体の健康増進に資する活動を推進し、学校での学びと地域・家庭での生活が一体となった教育としての食育の充実を目指して参ります。

地域とともにある学校づくりの推進

地域総がかりの教育の推進につきましては、コミュニティ・スクールの導入に伴い、学校の経営方針や教育実践などについて学校運営協議会において審議するとともに、地域住民や保護者が学校運営に参画し、学校が地域と一体となって子どもたちを育み、地域総がかりの教育と学校を拠点とした地域づくりを図って参ります。

また、学校運営協議会委員の資質・能力の向上及び各校の学校運営協議会の情報交換を目的とした研修会を実施して参ります。

ふるさと創生教育の推進につきましては、「だて学」として、子どもたちが地域の歴史や文化等に触れることは、豊かな情操を育むうえで重要であることから、地域の伝統芸能等に携わる人材や関係団体、学校及びだて歴史文化ミュージアムとの連携や姉妹都市等との学習交流を通して、子どもたちが郷土の歴史や文化を継承・発展させ、新しい価値観を創出できる取組の充実を図って参ります。

異校種間連携・接続の推進につきましては、小学校体験入学や中学校区を基本とした児童生徒交流に加え、教育課程の接続や児童生徒に関する引継ぎ、指導方法に関する研修会の実施により、教育活動の円滑な接続を図って参ります。

幼児教育の充実につきましては、幼児期の学びが将来の成長の基盤となることを踏まえ、幼保小連携や小学校との交流などを通じて、幼児の

学びや生活を支える環境づくりの充実を図って参ります。

家庭や地域と連携し、幼児が安心して学び、豊かに育つことができる取組を推進して参ります。

教職員の資質・能力の向上につきましては、学校組織全体が質の高い教育を提供するうえで不可欠であり、教職員が専門性を高め続けるための環境整備を一層進めて参ります。

教職員が研修や日常の学び合いを通じて指導力や課題対応力を高めることは、重要な視点であり、各校での校内研修や外部研修の機会を活用し、資質・能力向上を支援して参ります。

また、部活動の地域展開や校務支援システムの活用などによる働き方改革を推進し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保する取組を強化して参ります。このような環境整備を通じて、児童生徒一人ひとりの学びを深める授業改善や心身の育成に向き合える体制を整え、学校教育の一層の充実を図って参ります。

信頼される教育環境の整備

学校施設・設備の充実につきましては、「大滝徳舜瞥学校校舎等照明設備改修事業」や「光陵中学校体育館床改修事業」等、伊達市学校施設長寿命化計画に基づいた施設・設備の改修や維持管理を行うことで、安全・安心な教育環境の確保に努めて参ります。

校外安全対策の充実につきましては、児童生徒が通学時や地域で安全・安心に行動できる環境の整備を重視いたします。

具体には、関係機関で構成する登下校安全対策推進会議において通学路の危険箇所の現地確認を行い、必要な安全対策や改善策を検討し、その結果をもとに、保護者、学校及び警察と連携して安全対策を継続的に

実施するとともに、地域住民の協力による見守り活動を強化して参ります。

特に、スクールガードリーダーや地域の見守り活動団体と協力し、児童生徒の登下校時の安全確保を図るとともに、危険箇所の改善要望や地域安全情報を共有する仕組みを整備して参ります。こうした取組は、地域全体で児童生徒を支える環境を形成するとともに、児童生徒が安心して日常生活を送る基盤となるものであります。

学校再編等の推進につきましては、学校再編は、当分の間、予定しておりません。

ただし、将来的には、学校区ごとの年齢別人口の推移等により学級数の確保が難しい場合には、学校再編等を検討する可能性がございます。その際は、地域の皆さまのご意見を十分にお聞きし、児童生徒にとって最適な教育環境の確保に努めて参ります。

高等学校教育等との連携・支援につきましては、北海道伊達開来高等学校及び北海道伊達高等養護学校の教科指導やキャリア教育、小中高一貫で取り組む「だて学」に関する取組を支援し、高校生の学びを応援することで、本市全体の学校教育への関心や学びの機運を醸成して参ります。

加えて、図書館や文化施設、社会教育施設と連携し、学習環境の充実や主体的・協働的に学ぶ力の育成に向けた取組を後押しして参ります。

（２）　社会教育

第二は、社会教育についてであります。

ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進

こころとふるさと意識を育む体験活動の推進につきましては、「だて学」などを通して、地元愛に根ざした地域創生の原動力となる「伊達プライド」を持った「伊達人」を育成するとともに、青少年の新たな価値を生み出す資質・能力を育んで参ります。

交流活動を通じた地域づくりに参加する人材の育成につきましては、次代を担う青少年が、多様な体験や幅広い世代との交流を通して、創造性や協調性等を養い、夢や目標を持って健やかに成長できるよう、市民団体と協力して青少年教育事業の充実を図って参ります。

更に、地域のリーダー育成を目指し、青少年に対する各種研修や交流事業への参加を促進し、模範的な行動を顕彰することで誇りと自信を高め、豊かな心と実践力の育成に努めて参ります。

共に支えあう地域づくりを目指す社会教育の推進

生涯にわたる充実した学習機会の提供につきましては、市民の多様な関心や社会の変化を踏まえ、内容や実施方法の工夫により、学習機会の充実を図って参ります。講座の企画に当たりましては、学び直しへのニーズを踏まえ、実施時期や開催方法の柔軟化など、参加しやすい環境づくりに努めて参ります。

ふるさと創生教育「だて学」につきましては、子どもから大人まで幅広い世代が学びを通じて地域への理解と誇りを深められるよう、「オト

ナのだて学」をはじめとする講座の展開を進めて参ります。
　また、「市民講座」につきましては、市民ニーズを的確に捉えた内容の充実を図るため、カルチャーセンターの指定管理者と連携し、生涯学習の推進に取り組んで参ります。

　高齢者が健やかで豊かに学ぶ機会の創出につきましては、「長生大学」において、人生１００年時代にあって、高齢者が自主的な学習活動を通して自らの教養を高め、社会的活動に参加する喜びと、生きがい意識を高揚させ、健康で充実した日々を送ることを目的として運営して参ります。

　家庭・地域の教育力の向上につきましては、「放課後児童クラブ」において、共働き世帯などの留守家庭の児童に対し、児童の健全な育成を図ることを目的として、適切な遊びと生活の場を与え、放課後の安全・安心な居場所の確保を行い、運営して参ります。

　男女共同参画の推進につきましては、多様な生き方を認め合える社会の実現に向けて、女性リーダー養成研修への参加者派遣や教養講演会等を開催し、意識啓発を推進して参ります。

　図書館機能の充実につきましては、新たに整備する図書館の開館に向けて、市民の多様な知的・文化的ニーズに応えるため、図書館サービスの向上に取り組んで参ります。ＩＣタグシステムの導入により、蔵書管理や貸出・返却業務の効率化を図ることで利用者の利便性を高め、図書館業務の省力化とサービスの質的向上を目指して参ります。併せて、開館日数の増や開館時間の延長に取り組むことで、仕事や学校などで日中の利用が難しい方々にも利用しやすく、幅広い世代の市民にとって身近な施設となるよう環境整備を進めて参ります。
　また、「伊達市立図書館運営基本方針」に基づき、図書館運営協力会

と連携し、誰もが安心して過ごせる居心地の良い空間づくりを推進して参ります。新図書館に整備する学習スペースや閲覧スペース等を活用し、市民の生涯学習を支援するとともに、リカレント教育やリスキリングの場としても活用できるよう学びの環境を充実させて参ります。

更に、地域のボランティア団体や市内の市立・道立学校と連携し、読み聞かせや読書イベント等の活動を通じて、子どもたちを中心に読書習慣の定着を促進し、読解力や表現力の向上を図って参ります。

（３）　歴史・文化芸術

第三は、歴史・文化芸術についてであります。

特色ある地域文化の推進

文化芸術活動の振興につきましては、カルチャーセンターやだて歴史文化ミュージアム等を活用し、施設の指定管理者や関係団体等と連携しながら、質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、児童生徒に対しては、創造性や感性を育むため文化芸術鑑賞の機会を提供する「学校芸術鑑賞事業」を実施して参ります。

また、普及活動といたしまして、市民が日頃の稽古の成果を発表し、作品を展示できる場として、伊達市文化協会との共催事業である「市民総合文化祭」を開催するとともに、噴火湾文化研究所におきましては、施設管理及び絵画教室事業の受託者と連携し、本市などが所有する美術品の公開や絵画教室等を実施して参ります。

カルチャーセンターは、市民の文化芸術活動や生涯学習の拠点であることから、「カルチャーセンター長寿命化計画」に基づき、大ホール舞台調光設備及び大ホール・講堂客席照明改修事業を令和７年度から継続して実施し、老朽化が進む建物、設備の改修や適切な維持管理により、地域の文化芸術活動の拠点としての機能を確保するとともに、指定管理者と連携を図り、運営の充実に努めて参ります。

更に、伝統芸能・郷土芸能といたしまして、伊達市さんさ時雨保存会や伊達市仙台神楽保存会をはじめとした関係団体と学校、地域等との連携を強化することで、持続的な普及と伝承を図って参ります。

歴史文化を活かしたまちづくりの推進

歴史文化資源の活用につきましては、本市は、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である北黄金貝塚に代表される遺跡が示すとおり、縄文時代以降、およそ１万年に渡り人々の営みが連綿と続いてきた土地であり、アイヌ文化や仙台藩亘理伊達家の移住による武家文化が融合した、稀有な歴史文化を背景として成り立つまちであります。こうした郷土の特徴を市民が理解し、誇りを持てるような取組を進めて参ります。

北黄金貝塚につきましては、世界文化遺産への登録やインバウンドの増加等により多様化した来訪者への対応と満足度向上のため、ガイダンス映像等のデジタルコンテンツの活用や解説板の更新等を行うとともに、北海道や洞爺湖町をはじめとする関係自治体との連携により、周遊見学の促進等、広域的な活用を図って参ります。

また、引き続き、世界文化遺産としての価値の周知と教育資産としての活用を推進するため、学校教育と連携し、「だて学」を通じて児童生徒が北黄金貝塚について理解を深められるよう支援して参ります。

有珠善光寺につきましては、北海道遺産「蝦夷三官寺」の一つとして、三官寺が所在する厚岸町や様似町と連携して周遊見学の促進を図るとともに、子どもたちが地域の歴史文化への理解を深めることができるような取組を進めて参ります。

だて歴史文化ミュージアムにつきましては、特色あるまちの歴史文化を俯瞰的に理解することができる施設として、多くの方に市内の文化財を見学していただき、地域の歴史の文化的価値を伝えられるよう、展示の工夫と充実を図って参ります。

また、北黄金貝塚情報センターの冬期休館中は、だて歴史文化ミュージアムの活用により、世界文化遺産の構成資産としてガイダンス機能を

通年で確保し、幅広い来訪者が縄文文化への理解を深められるよう努めて参ります。

文化財の保護と適切な展示保管環境の維持につきましては、それぞれの文化財に適した維持管理を行うとともに、文化財保護意識の啓蒙のため、北黄金貝塚や有珠善光寺、旧伊達邸庭園等をはじめとする地域に点在する文化財と市民をつなぐプラットフォームとして、だて歴史文化ミュージアムにおける情報発信に努めて参ります。

更に、市内の学校をはじめ周辺施設、指定管理者との連携を通して、「学究の場」と「集い学び合える場」となるよう努め、教育や観光の促進を目指して参ります。

（４）　スポーツ

第四は、スポーツについてであります。

豊かな心身を育むスポーツの振興

少子高齢化の進行やライフスタイルの多様化が進む中、心身の健康の保持増進や生活の質の向上に向け、スポーツが果たす役割は一層重要性を増しております。年齢や体力、障がいの有無に関わらず、誰もが身近にスポーツに親しむことができる環境を整えることは、健康で活力ある地域社会の形成につながるものであります。

本市におきましても、生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実を図り、スポーツを通じた健康づくりや交流の促進、更には地域への参画意識の醸成につながる取組を推進して参ります。

スポーツ活動の促進につきましては、子どもたちの健やかな体を育むため、学校、地域、家庭が一体となり、運動を楽しみながら体力を向上させる機運を醸成していくことが必要であります。そのために、文化部を含めた中学校部活動と「伊達スポーツクラブ“藍”」による地域展開活動をハイブリッド化させることにより、生徒の活動機会の充実を図って参ります。この取組を通して、地域と学校が一体となってスポーツの振興や学校の働き方改革の推進を図るとともに、事業体制の充実・改善を進めながら、生徒がより多くの経験を積み、心身ともに健やかに成長できるよう取組を進めて参ります。

スポーツ施設の整備・充実につきましては、総合体育館のＬＥＤ化やまなびの里パークゴルフ場のコース修繕などを進めるほか、ニュースポ

ーツを含めた生涯スポーツの取組の拡充を図るため、健康づくり事業やスポーツ教室、各種大会の開催について、スポーツ施設の指定管理者がＮＰＯ法人伊達スポーツ協会や関係団体等と連携し、運営するよう支援して参ります。

更に、より多くの市民が総合体育館をはじめとするスポーツ施設を有効に活用できるよう、施設の指定管理者が実践する自主事業を通じて、市民への運動機会の提供とその充実を図って参ります。併せて、利用者アンケートによる評価等を踏まえ、施設管理・運営の充実・改善を図って参ります。

また、北海道電力伊達火力発電所の休止に伴う「ほくでんスポーツ公園」の管理・運営につきましては、今後も継続利用ができるよう、運営方法の検討と関係先との協議を進めて参ります。

４　むすび

以上、令和８年度の教育行政に臨む基本的な考え方と主な施策の方向性について申し述べて参りました。

急速に進展するデジタル技術や生成ＡＩは、学びや社会の在り方を大きく変えつつあります。一方で、こうした時代だからこそ、人と人との関わりの中で育まれる思いやりや協働の力、自ら考え行動する姿勢がこれまで以上に重要となっております。多様な価値観を尊重し、社会の課題を自分事として捉えながら、誰もが自分らしく幸せを実感できるウェルビーイングの実現に向けた教育の役割は極めて大きいものであります。

そのためには、他者と協働し、新たな価値を生み出しながら、地域や社会の中で自らの力を発揮し、持続可能な地域社会の形成に貢献できる人材の育成を、教育のあらゆる場面を通して進めていく必要があります。

伊達市教育委員会といたしましては、今後も学校教育と社会教育の連続性を大切にし、学校、家庭、地域はもとより、関係機関や団体との連携を一層深めながら、本市教育の更なる充実と発展に向け、着実に取り組んで参ります。

市民並びに市議会議員の皆さまのご理解とご協力を引き続き賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【資料2】

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　**【 社会教育委員関係事業 】**　　担当課・係　**生涯学習課社会教育係**

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
第１回伊達市社会教育委員会議（伊達市役所第２庁舎）	◎令和７年度教育行政執行方針説明 ◎令和６年度社会教育事業実施報告 ◎令和７年度社会教育事業実施計画	R7.7.16	委員８名	
北海道社会教育委員連絡協議会第１回理事会・通常総会（札幌市：かでる２・７）	◎令和６年度事業実施・決算報告 ◎令和７年度事業計画・予算報告	R7.4.18	小林委員	道社連協副会長として出席
胆振管内社会教育委員連絡協議会役員会・総会	◎令和６年度事業実施・決算報告 ◎令和７年度事業計画・予算報告	R7.5.30	小林委員 伊藤(成)委員	書面会議
北海道社会教育委員連絡協議会第２回理事会（札幌市：かでる２・７）	◎令和７年度全道表彰者の決定 ◎令和７年度全国表彰者の推薦 ◎役員改選の検討	R7.6.13	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員連絡協議会第３回理事会（札幌市：かでる２・７）	◎第６５回北海道社会教育研究大会（宗谷大会）について	R7.7.7	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員長等研修会（札幌市：かでる２・７）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会	R7.7.7～ R7.7.8	小林委員	
胆振管内社会教育委員連絡協議会研修会・永年勤続表彰式（伊達市）	胆振管内の社会教育委員及び社会教育関係職員が対象の研修会	R7.10.30	小林委員 安孫子委員 神委員	
北海道社会教育研究大会檜山大会（今金町：今金町総合体育館「あい・きゅーぶ」）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会	R7.11.7	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員連絡協議会臨時理事会（札幌市：かでる２・７）	◎第７１回全国社会教育研究大会北海道大会について	R8.1.29	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員連絡協議会第４回理事会（札幌市：かでる２・８）	◎令和７年度事業報告及び決算見込 ◎令和８年度活動方針	R8.3.18	小林委員	道社連協副会長として出席
北海道社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰	勤続年数１０年以上の社会教育委員を道社連協に推薦。（該当なし）			
胆振管内社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰	勤続年数６年以上の社会教育委員を胆社連協に推薦。		安孫子委員 神委員 鳴海委員	

※会議や研修会に出席した委員には、既定の旅費及び日額報酬が支払われます。
※北海道社会教育委員連絡協議会⇒道社連協、胆振管内社会教育委員連絡協議会⇒胆社連協

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
マイプラン・マイスタディ事業	市民団体等が行う社会教育に関する講演会等の講師謝礼金の一部を市が負担する事業。 参加者が主催団体の会員など、一部の市民に限定される事業ではなく、一般にも開放されていることが条件となる。 ◎負担上限額：20,000円	通年	５件	
だて市民カレッジ 〔第１講座〕 (カルチャーセンター)	「聞かせてよ愛の言葉を ～シャンソンに魅せられて」 講師：シャンソン歌手 竹原　真弓 氏 アコーディオン奏者 kibana 氏	R7.5.31	54	
だて市民カレッジ 〔第２講座〕 (千歳市)	「千歳方面工場見学研修」	R7.7.8	29	市バス
だて市民カレッジ 〔第３講座〕 (カルチャーセンター)	「順調じゃなくてもいいじゃないか☆」 講師：HOTEL DATTEL 支配人　磯辺　大輔 氏	R7.8.30	44	
だて市民カレッジ 〔第４講座〕 (カルチャーセンター)	「北海道のおいしい食材と物語」 講師：第170回直木賞受賞作家 川﨑　秋子 氏	R7.9.27	103	
だて市民カレッジ 〔第５講座〕 (カルチャーセンター)	「病院経営を取り巻く現状と地域医療を守るために大事なこと」 講師：NPO法人　病院経営支援機構 合谷　貴文 氏	R7.10.25	48	
伊達市長生大学 （カルチャーセンター・有珠白鳥館）	◎伊達長生大学と有珠長生大学の２ヶ所を開校。 ◎見学旅行（２回）、運動会、学芸発表会、ボランティア活動等も行っている。 ◎任意加入の部活(市管理外)もあり、独自に活動している。	通年	R7.4.30現在 65歳以上人口 12,138 R7年度在籍数 伊達　142 有珠　13 合計　155	

※市民カレッジについては「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
女性プラザ祭 （かでる２・７）	札幌市で開催されるイベントに、市民を集い参加する。	R7.11.5～ R7.11.9	3	オンライン講演会のみ参加
男女共同参画パネル展 (カルチャーセンター)	「防災」 －男女平等参画の視点で考える－ ※パネルは北海道立女性プラザより借用。	R7.12.9～ R7.12.14	－	
男女共同参画教養講演会 (カルチャーセンター)	「“○○であるべき”を外して、自分を活かすー性別にとらわれず、未来を拓く」 講師：㈱PekPek　代表取締役 星　さとみ 氏	R7.12.14	20	
胆振女性リーダー養成研修 （埼玉県比企郡嵐山町）	男女共同参画推進フォーラムに市民を派遣。（胆振管内教育委員会連絡協議会主催事業）	－	－	R7は実施なし
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	市内全小学校の児童を対象に開設。 ◆保護者が就労等によって昼間家庭にいない児童を対象に受け入れ ◆保育時間は、下校時刻から最大午後６時半まで ◆休日保育は、うめのこ児童クラブで実施 ◆各児童クラブには、会計年度任用職員２名以上を配置 ◆保育料は月額2,000円 ※軽減あり ◆補食（おやつ）あり ◆令和７年度登録状況 （令和８年３月時点） ◎伊達小 第１うめのこ児童クラブ　57名 第２うめのこ児童クラブ　46名 第３うめのこ児童クラブ　45名 ◎東小 第１やまびこ児童クラブ　39名 第２やまびこ児童クラブ　39名 第３やまびこ児童クラブ　34名 ◎伊達西小・関内小 第１ほしのこ児童クラブ　30名 第２ほしのこ児童クラブ　23名 第３ほしのこ児童クラブ　29名 ◎大滝徳舜瞥学校前期課程 おおたき児童クラブ　8名 合計　350名	通年	R8.3月時点 児童数　1,162 ※児童クラブがない星の丘小学校を除く。	
宅配講座事業	市職員が講師となり行う座学講座 ◎全58ジャンル ◎参加者が５名以上であれば、自治会や各種サークル等で申込可 ◎会場費等は申請者が負担	通年	〔R7実績〕 68件2,239人	

※男女共同参画教養講演会については「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　文化芸術事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
市民総合文化祭2025 （カルチャーセンター）	伊達市文化協会加盟団体ほか長生大学等の非加盟団体が参加する文化祭。（参加34団体）	R7.10.11～ R7.11.23	4,229	
文化・芸術鑑賞講座（札幌市）	旧市民講座で取り組んでいた舞台芸術等の鑑賞講座。 ・座学１回（カルチャーセンター） ・芸術鑑賞１回 （札幌交響楽団定期演奏会）	〔事前学習〕 R7.10.15 〔舞台鑑賞〕 R7.10.19	31	市バス
西いぶり定住自立圏文化事業「劇団四季ミュージカル　赤毛のアン」（伊達市）	西胆振６市町（室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）で実行委員会を組織し開催している文化公演事業。 ◎チケット販売枚数は931枚（うち伊達市分446枚）	R7.5.26	931	
巡回小劇場事業 〔小学校低学年公演〕 （カルチャーセンター）	市内の小学校低学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆percussion performance players 〔音楽公演〕ＰＰＰの楽しい芸術鑑賞会	R7.6.30	515	
巡回小劇場事業 〔中学校公演〕 （カルチャーセンター）	市内の中学校（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆劇団トマト座 〔ミュージカル〕オズの魔法使い	R7.9.1	675	
巡回小劇場事業 〔小学校高学年公演〕 （カルチャーセンター）	市内の小学校高学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆劇団四季 〔ミュージカル〕王子と少年	R7.9.10	672	
市民サークルまつり （カルチャーセンター）	市内文化系サークルによるイベント（文化協会非加盟の１６団体）	R7.9.5～ R7.9.7	630	
現代写実絵画研究所 絵画教室「野田・永山塾」画家育成コース・大人の写実絵画コース （噴火湾文化研究所）	画家である顧問の野田弘志氏と講師の永山優子氏による、小学生から一般（大人）を対象とした絵画教室。	通年	画家育成 コース　8 大人の写実 絵画コース 26	
現代写実絵画研究所 リアリズム絵画セミナー （噴火湾文化研究所）	リアリズム絵画を志す人を対象としたセミナーで、顧問の野田弘志氏、画家の永山優子氏、外部講師が指導。	①R7.8.5 ～R7.8.11 ②R7.8.30 ～R7.8.31	23	
北海道ジュニア美術セミナー（防災センター）	小学校４年生から高校生を対象とした絵画教室。絵画に興味を持ってもらうことやレベル向上を目的に開催。	R7.7.19～ R7.7.20	12	
教育関係合同表彰式 （カルチャーセンター）	芸術文化賞　1名 芸術文化奨励賞　7名 青少年表彰　1名 市民スポーツ賞表彰　87名 市民体力づくり運動功績者行賞　7名 合計　103名	R8.3.23	103	

※文化・芸術鑑賞講座については「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　歴史事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
だて噴火湾縄文まつりシンポジウム (カルチャーセンター)	縄文文化を学び、親しむためのシンポジウム	R7.7.12	42	
だて噴火湾縄文まつり本まつり (史跡北黄金貝塚公園)	縄文文化を学び、親しむための体験学習イベント	R7.7.13	1,700	
動物考古学セミナー （カルチャーセンター)	動物標本や貝塚から出土した魚や動物の骨を用いた講座・ワークショップ	R8.2.7	40	
文化財防火デー (善光寺・三戸部家住宅)	重要文化財を火災から守るための消防訓練	R7.11.27	18	
伊達市歴史文化講座 (史跡北黄金貝塚公園・ミュージアム・迎賓館)	北黄金貝塚で縄文文化を学び、史跡ガイドとなる人材を養成する講座 （月１回の５回開催）	R7.4～11 ※7・10月除く	50	

事業名　【　ミュージアム事業　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
企画展「端午の節句　甲冑展」 (本館２階特別展示室)	端午の節句に合わせて、ミュージアム所蔵の甲冑や刀剣等を展示する企画展。	R7.4.19～ R7.6.22	2,623	(要) 観覧料
企画展「小野潭の世界」 (本館２階特別展示室)	明治初期の亘理伊達家の移住やまちづくりの様子が描かれた小野潭筆の絵画等を展示する企画展。	R7.7.5～ R7.9.21	2,336	(要) 観覧料
企画展「伊達市の遺跡・史跡案内」 (本館２階特別展示室)	伊達市内に所在する遺跡を紹介する企画展。	R7.10.4～ R8.1.12	2,108	(要) 観覧料
企画展「亘理伊達家のお雛様」 (本館２階特別展示室)	ひな祭りに合わせて、亘理伊達家由来のお雛様などを展示する企画展。	R8.2.1～ R8.3.30	1,681	(要) 観覧料
企画展「伊達紋別駅開業100周年　鉄道コレクション展」 （本館１階ラーニング・スタジオ)	伊達紋別駅開業100周年を記念し、市や市民が所蔵していた鉄道関連資料の展示。	R7.7.19～ R7.9.21	6,472	無料
企画展「史跡北黄金貝塚」 （本館１階ラーニング・スタジオ)	冬季休館する史跡北黄金貝塚の代替となる世界遺産ガイダンス施設としての企画展。	R7.12.13～ R8.3.22	2,167	無料
ナイトミュージアム事業 （本館)	武者まつり前夜祭に合わせてミュージアムの無料公開及び開館時間の延長を実施。	R7.8.1	208	無料

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　青少年事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
第１回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「お茶」と「切り紙アート」を楽しもう 〔協力者・協力団体〕 武者　ますみ　氏 つどいサークル「ドロップ」	R7.5.18	23	児童：15 保護者等：8
第２回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「親子でお金について学ぼう」 〔協力者〕 柏村　太一　氏（アクサ生命保険） 三上　誉人　氏（アクサ生命保険） 担当；社会教育係	R7.6.21	8	児童：4 保護者等：4
第３回だてっ子遊び・学びの教室 (総合体育館)	「モルック教室」 〔協力団体〕 伊達モルック同好会	R7.7.12	33	児童：19 保護者等：14
第４回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「ペーパータワーを作ろう！」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」	R7.8.30	11	児童：7 保護者等：4
第５回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「UVレジンでおさかな水槽を作ろう！」 〔協力者・協力団体〕 渡辺　元佳　氏 つどいサークル「ドロップ」	R7.9.22	130	児童：84 保護者等：46
第６回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「ミニフラワーアレンジメント」 〔協力者・団体〕 澤田　知子　氏（青葉） つどいサークル「ドロップ」	R7.10.20	51	児童：36 保護者等：15
第７回だてっ子遊び・学びの教室 (総合体育館)	「スポーツ鬼ごっこ」 〔協力団体〕 L fun De'Create 担当；社会教育係	R7.11.29	38	児童：25 保護者等：13
第８回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「お話と工作」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R7.12.13	26	児童：19 保護者等：7
第９回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「みんなで楽しくケンダマジック！」 〔協力者・団体〕 奥出　敦彦　氏（タラプ） つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R8.2.14	23	児童：11 保護者等：12
第10回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「ゲームでたのしくお金について学ぼう！」 〔協力者〕 柏村　太一　氏 担当；社会教育係	R8.2.28	9	児童：6 保護者等：3
親子体験教室 （まなびの里パークゴルフ場）	小中学生とその保護者を対象とした親子参加型の体験事業 （パークゴルフ教室）	R7.8.16	5人(2組)	
令和８年「伊達市二十歳(はたち)を祝う会」 (カルチャーセンター)	二十歳の誓い、ビデオレター上映を実施 〔協力団体〕 伊達favorite CLUB	R8.1.11	192	

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　青少年事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
あそびましておめでとう （カルチャーセンター）	「あそびまして　おめでとう」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」 伊達シニアクラブ 伊達市長生大学 担当；社会教育係	R8.1.24	16	児童：12 保護者等：4
姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会 （福島県相馬郡新地町）	姉妹・歴史友好都市である、宮城県亘理町、山元町、柴田町、福島県新地町、伊達市の中高生シニアリーダーが一堂に会し研修・交流する。 〔協力団体〕 伊達シニアクラブスポーツ少年団 伊達開来高等学校	R7.8.6～ R7.8.8 （２泊３日）	6	中学生：2 高校生：2 引率：2

事業名　【　　スポーツ事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
春一番伊達ハーフマラソン（メイン会場：だて歴史の杜総合公園）	３・10km、ハーフ（21.098km）	R7.4.20	2,695	
おおたき国際ノルディックウォーキング （大滝総合運動公園）	３・６・９・12km	R7.6.29	282	
おおたき国際スキーマラソン （大滝総合運動公園）	３・５・７・15km	R8.2.8	260	

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　図書館事業　　】－１　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
2025春の読書週間 （図書館）	子ども読書週間に合わせて、小学生子ども一日司書体験、ワークショップ、講演会等を実施。	R7.4.23～ R7.5.11	期間計 2,196	
堀内文庫・伊東文庫巡回事業（市内全小学校等）	堀内氏、伊東氏からの寄贈児童書を各校(６校)に１ヶ月程度巡回	R7.6中旬～ R8.3上旬	―	
七夕飾りづくり （図書館）	高さ４ｍの竹を設置し、子ども達が期間中書いた短冊を飾る。	R7.7上旬～ R7.8上旬	期間計 105	
2025秋の読書週間 （図書館）	おはなし会、ばくろう会、ビブリオバトル、ワークショップ等を実施。	R7.10.28～ R7.11.9	期間計 1,459	
おはなし会 （図書館）	幼児から小学生向けのおはなし、絵本の読み聞かせ等を実施。	毎月第１土曜日	延べ 187	保護者含
絵本の読み聞かせ会 （図書館）	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を実施。	毎月 第２・４水曜日	延べ 220	保護者含
大人も楽しむおはなし会 （図書館）	語り手がお話を覚えて語り聞かせるストーリーテリングを実施。	R7.4.25 R7.10.31 R8.2.13	延べ 34	
子どもが楽しむおはなし会 （図書館）	語り手がお話を覚えて語り聞かせるストーリーテリングを実施。	R7.5.10 R7.7.27 R7.11.8	延べ 21	
ゲームの日 （図書館）	ボードゲーム、TRPGを実施。	毎月１回	延べ 180	
図書館で鑑賞 （図書館）	毎回テーマを募り、参加者が持ち寄ったCDを聴きながら自由に過ごす。	８月から毎月１回	延べ 40	
地域文庫配本 （各地域文庫５箇所）	図書館遠隔地にその地域と協働で地域文庫を設置。半年に一度250冊の図書を寄託・巡回し、地域住民への読書サービスの向上に努める。（５地域に開設）	各文庫 年２回入替	―	
ブックスタート （保健センター）	読書啓発と子育て支援のため、乳幼児健康栄養相談（１歳児対象）の際に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施。	隔月１回	受渡 90	

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　図書館事業　　】－２　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
ブックスタート・ステップ （図書館）	読書啓発と子育て支援のため、２歳児を対象に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施。	年３回実施 （8、11、3月）	受渡 68	
伊達市立図書館ファイナルカウントダウン （図書館）	タカラトミー公認ベイブレードＸ大会を実施。	毎月１回	延べ 420	保護者含
研修生受入事業 （図書館）	図書館業務を体験することで図書館への理解を深めてもらうとともに、研修生の勤労観、職業観の育成等に資する。対象は中学生以上の生徒・学生。	随時	3	
わくわくワークショップ （図書館）	ハンドメイドワークショップを実施。 協力：handmade2525、mi-has、IRONOWA、Lico*nico、tsukinone	R7.4.17	延べ 300	
図書館ミーティング （図書館）	図書館ボランティアと堀井市長の意見交換会を実施。	R7.5.8	12	
図書館講演会『エゾシカのお兄さん～角角鹿鹿～』 （図書館）	登別市地域おこし協力隊増田好希氏による講演会を実施。	R7.5.11	20	
てとてのじかん （図書館）	北海道伊達開来高等学校３年『だて学』による未就学児向け企画。紙芝居、折り紙、粘土、読み聞かせを実施。	R7.7.15	25	
みらいに羽ばたく翼アート～ブックスタートフライ～ （図書館）	ブックスタートステップ開催に合わせて、翼アート体験、発達遊びを実施。	R7.8.24	延べ 100	
図書館ではじめてヨガ⇒LibraryYOGA （図書館）	ヨガ教室を実施。 協力：豊浦町地域おこし協力隊miumi	R7.9.6 R7.12.13 R8.2.28 R8.3.17	延べ 60	
としょかんフェスティバル （図書館）	北海道伊達開来高等学校３年『だて学』による企画。館内スタンプラリー、しおり製作、ペープサート、読み聞かせ、パン販売、お菓子試食会を実施。	R7.9.20	200	
オーラソーマ （図書館）	英国発祥カラーセラピーを実施。 協力：ディシャーナ	R7.10.4 R8.1.17	15	
子ども店長まつり （図書館）	小中学生6人が店長となりハンドメイドワークショップを実施。	R7.10.5	350	

令和７年度　社会教育事業実施報告書

事業名　【　　図書館事業　　】－３　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催日	参加実績	備　考
ママと赤ちゃんのゆったりタイム“ベビーマッサージ” （図書館）	ベビーマッサージ教室、子育て相談を実施。 協力：近井絵美	R7.10.18 R7.11.29 R8.1.24	15	
地球交響曲上映会 （図書館）	地球交響曲（ガイアシンフォニー）上映会を実施。 協力：GAIACLUB北海道	10月から毎月１回	延べ 60	
ばくろう会 （図書館）	常設の本の交換市の規模を拡大し実施。	R7.10.29～ R7.10.30 R8.3.18～ R8.3.24	―	
ビブリオバトル （図書館）	ビブリオバトルを実施。 協力：だてまったり読書会	R7.11.1	5	
子育てしている人に届けたいこと集めました （図書館）	ブックスタートステップ開催に合わせて、カラダあそび、ママの体質まるわかり診断・即効くびれ講座、紙コップランド、まもり～の足育教室、おもちゃ遊びと人形劇を実施。	R7.11.2	延べ 200	
みんなでつくろう～パネルシアターをつくってあそぼう～ （図書館）	パネルシアター製作ワークショップを実施。 協力：きつつきの会	R7.11.9	50	
ママのための尿漏れ対策エクササイズ ⇒産後リカバリー講座『産後ママ集まれー！』 （図書館）	産後ケア教室を実施。 協力：吉田茉理	11月から毎月１回	延べ 30	
図書館講演会『宇宙から羊へ～お母ちゃんラボができるまで～』 （図書館）	お母ちゃんラボ代表中田美穂氏による講演会を実施。	R7.12.14	20	
フェルト教室～my time～ （図書館）	フェルトワークショップを実施。 協力：石嶋陽子	R8.1.31 R8.2.28 R8.3.28	延べ 25	
あしあーと （図書館）	ブックスタートステップ開催に合わせて、足形と己書の合作ワークショップを実施。	R8.3.15	延べ 250	
飲食ニーズ実証実験 （図書館）	イベント開催時に適宜実施。 主な協力事業者：HANECOFFEE、リトルチェア珈琲、関内クレープなど	随時	―	

【資料3】

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　**【 社会教育委員関係事業 】**　　担当課・係　**生涯学習課社会教育係**

◆開催予定日：上⇒上旬、中⇒中旬、下⇒下旬、未⇒未定　〔R8.4.未⇒４月開催で未定〕

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
第１回伊達市社会教育委員会議（市役所第２庁舎）	◎令和８年度教育行政執行方針説明 ◎令和７年度社会教育事業実施報告 ◎令和８年度社会教育事業実施計画	R8.6.未	社会教育委員 教委関係職員	
第２回伊達市社会教育委員会議（会場未定）	◎令和９年度事業実施計画ほか	R9.2.未	社会教育委員 教委関係職員	
北海道社会教育委員連絡協議会通常総会（札幌市：かでる２・７）	◎令和７年度事業実施・決算報告 ◎令和８年度事業計画・予算報告	R8.4.17	小林委員	道社連協副会長として出席
胆振管内社会教育委員連絡協議会役員会・総会（カルチャーセンター）	◎令和７年度事業実施・決算報告 ◎令和８年度事業計画・予算報告	R8.5.29	小林委員 伊藤（成）委員	
第46回北海道社会教育委員長等研修会（札幌市：かでる２・７）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会	R8.7.16～ R8.7.17	小林委員	
胆振管内社会教育委員連絡協議会研修会・永年勤続表彰式（伊達市）	胆振管内の社会教育委員及び社会教育関係職員が対象の研修会。	R8.10.未	社会教育委員 教委関係職員	
第65回北海道社会教育研究大会宗谷大会（稚内市）	社会教育委員及び関係職員を対象とした研修会。	R8.11.12～ R8.11.13	社会教育委員 教委関係職員	
北海道社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰候補者推薦	勤続年数１０年以上の社会教育委員を道社連協に推薦。（小林委員）			
胆振管内社会教育委員連絡協議会永年勤続功労者表彰候補者推薦	勤続年数６年以上の社会教育委員を胆社連協に推薦。（該当なし）			

※会議や研修会に出席した委員には、既定の旅費及び日額報酬が支払われます。
※北海道社会教育委員連絡協議会⇒道社連協、胆振管内社会教育委員連絡協議会⇒胆社連協

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
マイプラン・マイスタディ事業	市民団体等が行う社会教育に関する講演会等の講師謝礼金の一部を市が負担する事業。 参加者が主催団体の会員など、一部の市民に限定される事業ではなく、一般にも開放されていることが条件となる。 ◎負担上限額：20,000円	通年	〔R8予算額〕 ８件160,000円	
だて市民カレッジ 〔第１講座〕 (カルチャーセンター)	「音の万華鏡～マンドリンが奏でる地域と22年の輪」 講師：訪問演奏グループ ｺﾝﾊﾟﾆｱ･ﾃﾞ･ﾏﾝﾄﾞﾘｰﾅ	R8.5.30	20	
だて市民カレッジ 〔第２講座〕 (倶知安町、ニセコ町)	「ニセコ方面ミュージアムツアー（市バス見学研修）」 ・小川原脩記念美術館 ・有島武郎記念館 ・ニセコ高橋牧場ミルク工房	R8.6.11	30	市バス
だて市民カレッジ 〔第３講座〕 (カルチャーセンター)	「あの新しい病院は何？ ～いろいろな疑問と病院のお話」 講師：交雄会だて病院 院長　合地　研吾 氏	R8.8.22	40	
だて市民カレッジ 〔第４講座〕 (カルチャーセンター)	「演台未定」 講師：映画『モルエラニの霧の中』 監督　坪川　拓史 氏	R8.9.26	40	
だて市民カレッジ 〔第５講座〕 (カルチャーセンター)	「演題未定」 講師：NPO法人いきものいんんく 代表　加藤　康大 氏	R8.11.28	40	
伊達市長生大学 （カルチャーセンター・有珠白鳥館）	◎伊達長生大学と有珠長生大学の２ヶ所を開校。 ◎見学旅行（２回）、運動会、学芸発表会、ボランティア活動等も行っている。 ◎任意加入の部活(市管理外)もあり、独自に活動している。	通年	R8.4.30現在 65歳以上人口 11,995 R8年度在籍数 伊達　138 有珠　12 合計　150	

※市民カレッジについては「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　生涯学習事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
女性プラザ祭 （かでる２・７）	札幌市で開催。市民を集い参加する予定だが、令和８年度の詳細については不明。	（未定）	30	市バス
胆振女性リーダー養成研修 （埼玉県比企郡嵐山町）	男女共同参画推進フォーラムに市民２名を派遣する。 ※令和７年度より市単独事業	（未定）	市民 2 職員 1	
男女共同参画パネル展 (カルチャーセンター)	カルチャーセンターロビーにて開催 ※パネルは北海道立女性プラザより借用。	（未定）	―	
男女共同参画教養講演会 (カルチャーセンター)	男女共同参画社会づくり啓発のための講演会。	（未定）	50	
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	市内全小学校の児童を対象に開設。 ◆保護者が就労等によって昼間家庭にいない児童を対象に受け入れ ◆保育時間は、下校時刻から最大午後６時半まで ◆休日保育はうめのこ児童クラブで実施 ◆各児童クラブには、会計年度任用職員２名以上を配置 ◆保育料は月額２，０００円 **※令和７年度より減額** ※軽減あり ◆補食（おやつ）あり ◆令和８年度各クラブ定員 ◎伊達小 第１うめのこ児童クラブ　40名 第２うめのこ児童クラブ　40名 第３うめのこ児童クラブ　40名 ◎東小 第１やまびこ児童クラブ　35名 第２やまびこ児童クラブ　35名 第３やまびこ児童クラブ　40名 ◎伊達西小・関内小 第１ほしのこ児童クラブ　40名 第２ほしのこ児童クラブ　40名 第３ほしのこ児童クラブ　40名 ◎大滝徳舜瞥学校前期課程 おおたき児童クラブ　15名 合計　365名	通年	令和８年度当初児童数　1,114 ※児童クラブがない星の丘小学校を除く。 令和８年度当初登録数　440 ※期間通所児童（長期休みのみ通所）を含む。	
宅配講座事業	市職員が講師となり行う座学講座 ◎全57ジャンル ◎参加者が５名以上であれば、自治会や各種サークル等で申込可 ◎会場費等は申請者が負担	通年	―	

※男女共同参画教養講演会については「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　文化芸術事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課社会教育係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
市民総合文化祭2025 (カルチャーセンター)	伊達市文化協会加盟団体ほか長生大学等の非加盟団体が参加する文化祭。（参加見込23団体）	R8.10.10～ R8.11.23	3,000	
文化・芸術鑑賞講座 （札幌市）	旧市民講座で取り組んでいた舞台芸術鑑賞講座。 ・座学１回（カルチャーセンター） ・舞台鑑賞１回（劇団四季　コーラスライン）	〔事前学習〕 R8.9.17 〔舞台鑑賞〕 R8.9.24	30	市バス
西いぶり定住自立圏文化事業「きかんしゃトーマス　ファミリーミュージカル」（室蘭市）	◎西胆振６市町（室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町）で実行委員会を組織し開催している文化公演事業。	R8.8.30	1公演1,250席 （２回公演）	
巡回小劇場事業 〔小学校低学年公演〕 (カルチャーセンター)	市内の小学校低学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆劇団たんぽぽ 〔児童劇〕あやうし！ズッコケ探検隊	R8.9.14	521	
巡回小劇場事業 〔小学校高学年公演〕 (カルチャーセンター)	市内の小学校高学年（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆劇団たんぽぽ 〔児童劇〕あやうし！ズッコケ探検隊	R8.9.14	627	
巡回小劇場事業 〔中学校公演〕 (カルチャーセンター)	市内の中学生（大滝徳舜瞥学校を含む）対象の舞台芸術鑑賞事業 ◆劇団ポプラ 〔ミュージカル〕アラジン（2.5次元プロジェクションマッピング）	R8.9.17	670	
市民サークルまつり (カルチャーセンター)	市内文化系サークルによるイベント（文化協会非加盟の16団体）	R8.9.4～ R8.9.6	500	
現代写実絵画研究所 絵画教室「野田・永山塾」画家育成コース・大人の写実絵画コース (噴火湾文化研究所)	画家である顧問の野田弘志氏と講師の永山優子氏による、小学生から一般（大人）を対象とした絵画教室。	通年	画家育成コース　8 大人の写実絵画コース　26	
現代写実絵画研究所 リアリズム絵画セミナー (噴火湾文化研究所)	リアリズム絵画を志す人を対象としたセミナーで、顧問の野田弘志氏、画家の永山優子氏、外部講師が指導。	年3回予定	15	
北海道ジュニア美術セミナー（防災センター）	小学校４年生から高校生を対象とした絵画教室。絵画に興味を持ってもらうことやレベル向上を目的に開催。	R8.7.18～ R8.7.19	10	
教育関係合同表彰式 (カルチャーセンター)	芸術文化表彰、青少年表彰、市民スポーツ賞表彰、市民体力づくり運動功績者行賞の合同表彰式	R9.2.未	―	

※文化・芸術鑑賞講座については「伊達まちカードポイント付与対象事業」で、１講座２０ポイントを付与

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　歴史事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
だて噴火湾縄文まつりシンポジウム (カルチャーセンター)	縄文文化を学び、親しむためのシンポジウム	R8.6.27	60	
だて噴火湾縄文まつり本まつり (史跡北黄金貝塚公園)	縄文文化を学び、親しむための体験学習イベント	R8.6.28	1,500	
動物考古学セミナー （カルチャーセンター）	動物標本や貝塚から出土した魚や動物の骨を用いた講座・ワークショップ	R9.2.未	40	
文化財防火デー (善光寺・三戸部家住宅)	重要文化財を火災から守るための消防訓練	R8.11.中	20	
伊達市歴史文化講座 (史跡北黄金貝塚公園・ミュージアム・迎賓館)	北黄金貝塚で縄文文化を学び、史跡ガイドとなる人材を養成する講座 （月１回の６回開催）	R8.5～11 ※6月除く	100	

事業名　【　ミュージアム事業　】　　担当課・係　　生涯学習課文化財係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
企画展「端午の節句　甲冑展」 (本館２階特別展示室)	端午の節句に合わせて、ミュージアム所蔵の甲冑や刀剣等を展示する企画展。	R8.4.18～ R8.6.28	1,500	(要) 観覧料
企画展「武家の装い」 (本館２階特別展示室)	亘理伊達家が旧蔵していた能装束を中心とした服飾資料を中心に展示する企画展。	R8.7.11～ R8.9.27	1,500	(要) 観覧料
企画展「胆振線を振り返る」 (本館２階特別展示室)	胆振線廃線40年にちなみ、市が所蔵する胆振線関連の鉄道資料を展示する企画展。	R8.10.10～ R9.01.11	1,500	(要) 観覧料
企画展「亘理伊達家のお雛様」 (本館２階特別展示室)	ひな祭りに合わせて、亘理伊達家由来のお雛様などを展示する企画展。	R9.1.30～ R9.3.28	1,500	(要) 観覧料
企画展「史跡北黄金貝塚」 （本館１階ラーニング・スタジオ）	冬季休館する史跡北黄金貝塚の代替となる世界遺産ガイダンス施設としての企画展。	R8.12.12～ R9.3.22	3,000	無料

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　青少年事業　　】－１　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
第１回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「お茶とゲーム」 〔協力者・協力団体〕 武者　ますみ　氏 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R8.5.16	15	
第２回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「工作」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R8.6.27	30	
第３回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「渡辺元佳氏ワークショップ」 〔協力者・団体〕 渡辺　元佳　氏 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R8.7.25	30	
第４回だてっ子遊び・学びの教室 (総合体育館)	「モルック教室」 〔協力団体〕 伊達モルック同好会	R8.8.29	30	
第５回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「ミニフラワーアレンジメント」 〔協力者・団体〕 澤田　知子　氏 つどいサークル「ドロップ」	R8.9.12	30	
第６回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「工作（ハロウィン）」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R8.10.10	30	
第７回だてっ子遊び・学びの教室 (総合体育館)	「スポーツ鬼ごっこ」 〔協力団体〕 L fun De'Create	R8.11.14	30	
第８回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「親子でお金について学ぼう（１回目）」 〔協力者〕 柏村　太一　氏 担当；社会教育係	R8.12.12	30	
第９回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「親子でお金について学ぼう（２回目）」 〔協力者〕 柏村　太一　氏 担当；社会教育係	R9.2.13	30	
第10回だてっ子遊び・学びの教室 (カルチャーセンター)	「工作」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R9.3.6	30	

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　青少年事業　　】－２　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
親子体験教室 （まなびの里パークゴルフ場）	小中学生とその保護者を対象とした親子参加型の体験事業 （パークゴルフ教室）	R8.5.23	10人(5組)	
あそびましておめでとう （未定）	「むかし遊び」 〔協力団体〕 つどいサークル「ドロップ」 担当；社会教育係	R9.1.未	30	
姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会 （まなびの里サッカー場他）	姉妹・歴史友好都市である、宮城県亘理町、山元町、柴田町、福島県新地町、伊達市の中高生シニアリーダーが一堂に会し研修・交流する。 〔協力団体〕 伊達シニアクラブスポーツ少年団	R8.8.4～ R8.8.6 （２泊３日）	40	
令和９年「伊達市二十歳(はたち)を祝う会」 (カルチャーセンター)	二十歳の誓い、ビデオレター等を予定 〔協力団体〕 伊達favorite CLUB	R9.1.10	200	

事業名　【　　スポーツ事業　　】　　担当課・係　　生涯学習課青少年･スポーツ係

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
春一番伊達ハーフマラソン（メイン会場：だて歴史の杜総合公園）	３km、10km、ハーフ（21.098km）	R8.4.19	3,269	
おおたき国際ノルディックウォーキング （大滝総合運動公園）	３・６・９・12km	R8.7.05	280	
おおたき国際スキーマラソン （大滝総合運動公園）	３・５・７・15km予定	R9.2.7	未定	

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　図書館事業　　】　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
おはなし会 （図書館、カルチャーセンター）	幼児から小学生向けのおはなし、絵本の読み聞かせ等を実施する。	毎月 第１土曜日	延べ 200	保護者含
絵本の読み聞かせ会 （図書館、カルチャーセンター）	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を実施する。	毎月 第２・４水曜日	延べ 300	保護者含
ゲームの日 （図書館）	ボードゲーム・TRPG会 協力：ゲーム会銀の鈴（倒さないドミノを普及する会）、DDK	毎月 第２土曜日	延べ 200	
図書館で鑑賞 （図書館）	CD鑑賞会を実施する。	毎月１回	延べ 100	
ベイブレード大会 （図書館）	タカラトミー公認ベイブレードＸ大会	毎月１回	延べ 200	保護者含
地域文庫配本 （各地域文庫5箇所）	図書館遠隔地にその地域と協働で地域文庫を設置。半年に一度250冊の図書を寄託・巡回し、地域住民への読書サービスの向上に努める。（5地域に開設）	各文庫 年２回入替	―	
ブックスタート （保健センター）	読書啓発と子育て支援のため、乳幼児健康栄養相談（１歳児対象）の際に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	年４回	対象 90	
ブックスタート・ステップ （図書館）	読書啓発と子育て支援のため、２歳児を対象に絵本の読み聞かせ及び絵本の配布を実施する。	年３回程度	対象 120	
堀内文庫・伊東文庫巡回事業（市内全小学校等）	堀内氏、伊東氏からの寄贈児童書を各校(６校)に１ヶ月程度巡回	R8.6中旬～ R9.3上旬	―	
研修生受入事業 （図書館）	図書館業務を体験することで図書館への理解を深めてもらうとともに、研修生の勤労観、職業観の育成等に資する。対象は中学生以上の生徒・学生。	随時	―	
足計測と足と爪の相談会 （図書館）	足計測と足と爪の相談会を実施。 協力：足育運動遊び教室あしまる	R8.4.4		
地球交響曲上映会 （図書館）	地球交響曲（ガイアシンフォニー）上映会を実施。 協力：GAIACLUB北海道	4～6月 各２回	延べ 60	

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　図書館事業　　】－２　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
伊達市立図書館読み納め週間“HIGH SYNERGY”（図書館）	子ども読書週間に合わせて、おはなし会、ワークショップ等を実施。	R8.4.22～R8.5.13	期間計 2,196	
うきうきわーくしょっぷ（図書館）	ハンドメイドワークショップ 協力：石嶋陽子他	R8.4.25	250	
産後リカバリー講座『産後ママ集まれー！』（図書館）	産後ケア教室を実施。 協力：吉田茉理	R8.4.17 R8.5.22 R8.6.19	延べ 50	
春の足育教室（図書館）	足育教室を実施。 協力：daily	R8.5.2	10	
1・2・3歳おやこあそびひろば（図書館）	わらべうた、手遊び、カラダ遊びなどを実施。 協力：あいにーく	R8.4.28 R8.5.19 R8.6.16	延べ 30	
LibraryYOGA（図書館）	ヨガ教室を実施。 協力：miumi	R08.04.30 R08.05.12 R08.06.09	延べ 50	
ビブリオバトル（図書館）	ビブリオバトルを実施。 協力：だてまったり読書会	R8.5.2	5	
図書館ミーティング（図書館）	図書館ボランティアと堀井市長の意見交換会を実施。	R8.5.8	8	
フェルト教室～my time～（図書館）	フェルトワークショップを実施。 協力：石嶋陽子	R8.6.6	6	
多肉植物ワークショップ（図書館）	多肉植物ワークショップを実施。 協力：渋谷明美	R8.6.7	12	
ハンドドリップコーヒーワークショップ（図書館）	ハンドドリップコーヒーワークショップを実施。 協力：HANECOFFEE	R8.6.12	6	
ばくろう会（図書館）	常設の本の交換市の規模を拡大し実施。	R8.6.25～R8.6.30		

令和８年度　社会教育事業実施計画書

事業名　【　　図書館事業　　】－３　　担当課・係　　図書館

事業名（会場）	事　業　概　要	開催予定日	定員又は来場見込	備　考
だて学イベント（仮） （現新図書館）	北海道伊達開来高等学校『だて学』による図書館利用促進イベントを未就学・学生・一般など対象別に複数回実施予定。	閉館期間中		
３町交流ベイブレード大会（仮） （壮瞥・豊浦図書室）	壮瞥町及び豊浦町の図書室と連携し、子どもの自主性を育み、図書館を利用促進し、近隣自治体の関係人口創出を目的として、ベイブレード大会を持ち回りで複数回実施予定。	閉館期間中		
読み始め読書週間（仮） （新図書館）	新館開館、秋の読書週間に合わせて、おはなし会、ワークショップなど実施予定。	R8.11.3～ R8.11.15		